



Network Video Recorder

クイックガイド


DR-6508P

DR-6516P(-A)

DR-6532P(-A)

安全上の注意事項

- 製品を正しく使うことでユーザーの安全を確保し、財産上の損害などを事前に防止するために必ずお守りください。

 **警告** 指示事項を守らない場合、死亡や重症を負う恐れがあります。

設置について


- 設置する前に必ず本機の電源をOFFにしてください。本機が使用するコンセントで、タコ足配線はしないでください。異常発熱や火災、感電の原因となります。
- 本機の内部に高電圧部分があるため、蓋を開けたり分解・修理・改造したりしないでください。異常作動により火災や感電、けがの原因となります。
- 停電や落雷による被害を防ぐため、保護設備を併用してご使用ください。火災、感電、けがの原因となります。
- カメラの新規設置および追加工事の前には必ず本機の電源をOFFにし、製品の駆動中には絶対に信号ラインを接続しないでください。火災、感電、けがの原因となります。
- 本機の後面には接続のための端子があり壁に近すぎると、ケーブルが無理に曲がったり押さえつけられたりして破損する恐れがあります。壁から15cm以上の間隔を開けて設置してください。火災、感電、けがの原因となります。
- 温度が高すぎる(40℃以上)や低いところ(5℃以下)、湿度の高いところには設置しないでください。火災の原因となります。
- 湿気、ホコリ、煤などの多いところには設置しないでください。感電、火災の原因となります。
- 直射日光の当たらない涼しい場所に設置し、適正な温度を維持してください。暖房器具など、熱を発する機器の近くには設置しないでください。火災が発生する恐れがあります。
- 設置する場所は、ホコリが溜まらないよう常に清潔を保ってください。製品を掃除するときには、必ず乾いた雑巾で拭き取ってください。水やシンナー、有機溶剤は使用しないでください。製品の表面を傷つけ、故障や感電の恐れがあります。

電源について

- 本機が作動するための電源電圧は、電圧の変動範囲が規程電圧の±10%以内である必要があります。電源コンセントは必ず接地するようにしてください。電源ケーブルを接続するコンセントには、ヘアドライヤーやアイロン、冷蔵庫などの消費電力の大きな器具と一緒に使用しないでください。異常発熱や火災、感電の原因となります。
- 電源ケーブルを無理に曲げたり、重い物を乗せたりしないでください。火災の原因となります。
- 電源ケーブル部分を無理に引き抜いたり、濡れた手で電源プラグに触らないでください。コンセントがゆるい場合は電源プラグを差し込まないでください。火災、感電の恐れがあります。
- 予期せぬ停電による製品の損傷を防ぐため、UPS(Uninterruptible Power Supply、無停電電源供給装置)の設置をお勧めします。詳細はUPS代理店にお問い合わせください。
- アース(接地)は確実に行ってください。電源コードには感電を防ぐためのアース線があります。電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をアースに接続してください。確実にアース接続しないと、感電の原因になります。また、アース線を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いたあとで行ってください。
- 安全を確保するため、必ず製品同梱の電源コードをご使用下さい。また、この電源コードを他の製品で使用しないで下さい。

使用について

- 製品に水または異物が入った場合、すぐに電源プラグを抜いてサービスセンターまでご連絡ください。故障、火災の原因となります。
- 異常な音かしたり臭いがしたりする場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店やサービスセンターまでお問い合わせください。火災、感電の恐れがあります。
- 電池は製造者が指定した同一型番または同等品だけを使用してください。使用済み電池は自治体の指示に従って廃棄してください。爆発の恐れがあります。
- 湿気のある床や接地されていない電源延長ケーブル、被覆の剥がれた電源コード、アースをとっていないなど、危険な状況を作らないように注意してください。問題が発生した場合は、販売店や施工業者にお問い合わせください。火災、感電の恐れがあります。

 **注意** 指示事項を守らない場合は、軽傷を負ったり、製品が損傷したりする可能性があります。

設置について

- 強い磁界や電波のある場所、ラジオやテレビなどの機器に近い場所には設置しないでください。磁石類や電波のないところに設置してください。
- 水平で安定した場所に設置し、垂直に立てたり斜めに置いて使用しないでください。機器が倒れたり落ちたりする場合、故障したり人にけがをさせたりする恐れがあります。
- 密閉されていない風通しの良い場所に設置し、室内の空気は適切に循環させてください。環境が適さない場合、故障の原因となります。後面は15cm以上、側面は5cm以上の間隔を置いて設置してください。
- ユーザーが電源プラグを簡単に取り外せる場所に設置してください。製品に深刻な異常や火災が発生した場合、電源プラグを抜いて危険要素を簡単に取り除けるようにしてください。
- 強い衝撃や振動のない場所に設置してください。故障の原因となります。

使用について

- 製品の上に重い物を置かないでください。故障の原因となります。
- 通風のために開いている溝に導電性物体が入らないように注意してください。故障の原因となります。
- 製品の稼働中には電源プラグを抜いたり、製品を動かしたりしないでください。故障の原因となります。
- 製品前面の録画LEDが点滅し続けている場合、システムとHDDは正常に働いています。録画LEDが点滅し続けているかどうか随時確認してください。
- HDDの空き容量がなくなったときに録画を続けるために設定を変更して録画を続ける場合、既存のデータが削除されるためご注意ください。
- データを保存するHDDの寿命が尽きると、保存されている映像データが損傷して復旧できないことがあります。HDDに保存されているデータを再生する場合、画面に乱れが生じたらHDDの寿命が尽きたことを意味するため早急に販売店やサービスセンターに連絡しHDDの交換を依頼してください。
- 製品の動作状態を随時確認し、異常が見つかったときはすぐに販売店やサービスセンターにお問い合わせください。

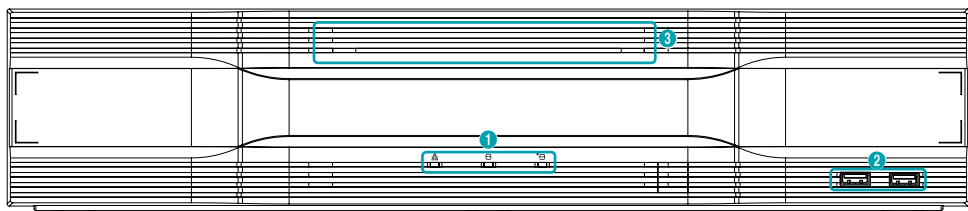
付属品の確認

製品の梱包を解体し、下記の部品がすべて含まれているか確認してください。

含まれるもの		
ネットワークビデオレコーダー	電源ケーブル	クイックガイド
ケーブルクランプ	ハードディスク固定用のネジ	SATA2ケーブル
ラックマウント設置用のブラケット	マウス	

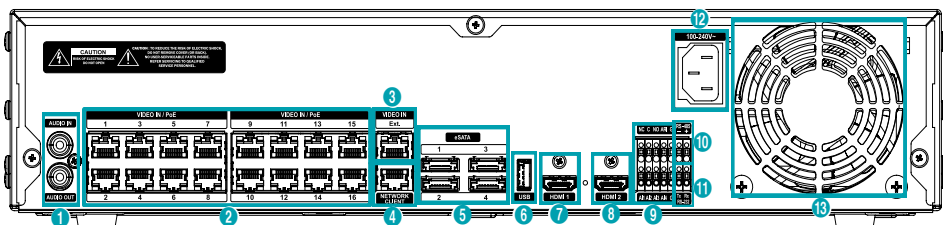
各部分の名称

前面パネル



1 状態 LED	2 USB 2.0 端子
3 電源 LED	

後面パネル



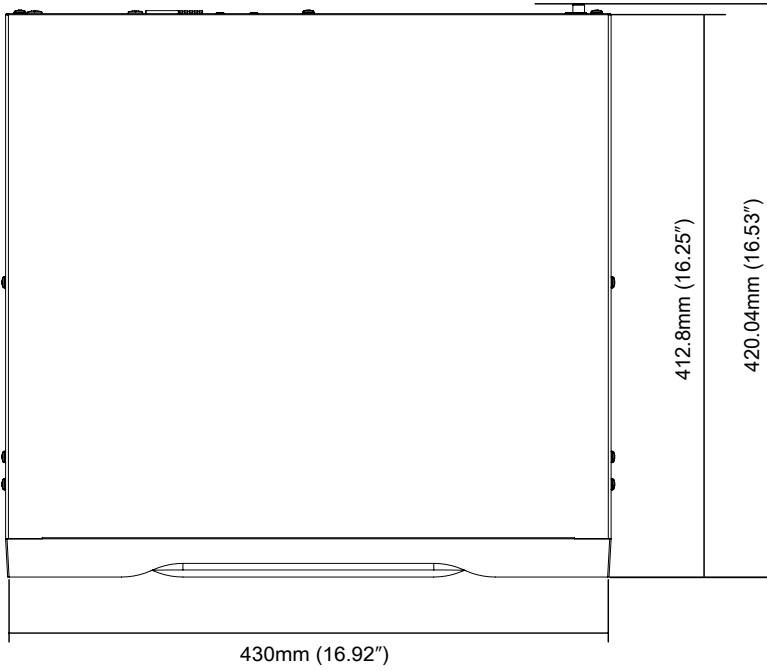
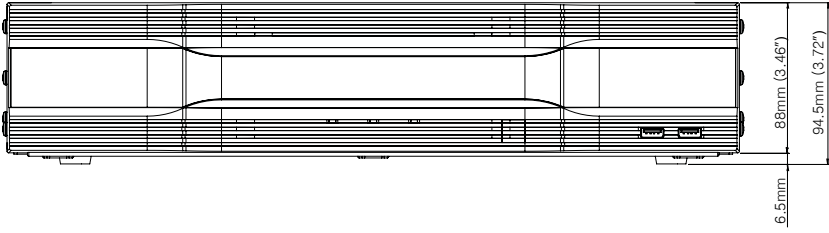
1 オーディオ入出力端子	2 カメラ入力・PoE端子	6 カメラ入力・拡張端子	4 ネットワーク端子
5 eSATA端子	6 USB 3.0 端子	7 HDMI 2.0 端子	8 HDMI 1.4b 端子
9 アラーム接続端子	10 RS485端子	11 RS232端子	12 電源入力端子
18 排気口			



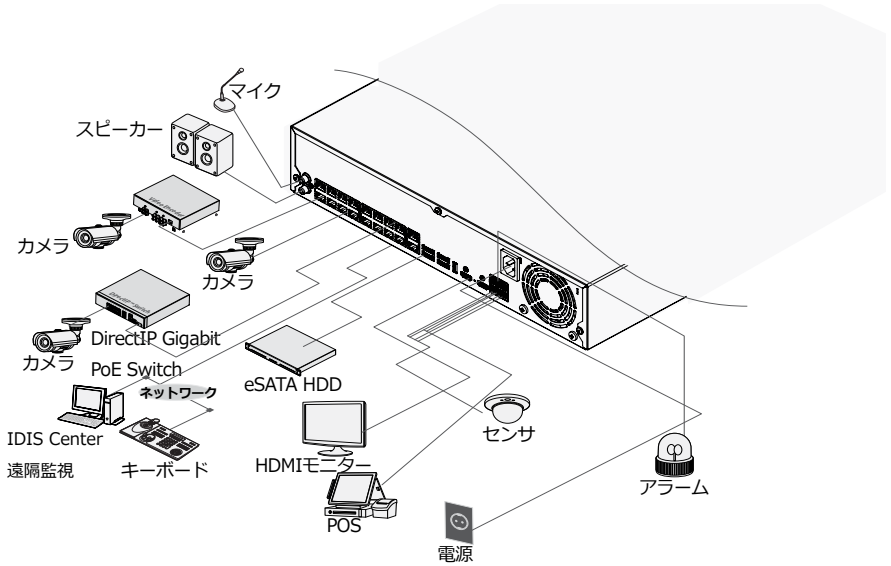
後面パネルの各端子の接続に関する詳しい内容は取扱説明書をお読みください。

外形寸法図

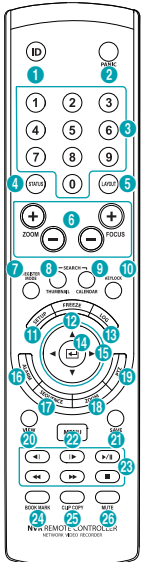
(単位 mm)



後面パネルの接続図



リモコン(オプション)



1	IDボタン	2	PANICボタン (緊急録画ボタン)
3	カメラボタン	4	STATUSボタン (ステータス情報ボタン)
5	LAYOUTボタン (画面分割ボタン)	6	PTZコントロールボタン
7	REGISTER MODEボタン (カメラ登録モードボタン)	8	THUMBNAILボタン (EZSearchモードボタン)
9	CALENDARボタン (カレンダー検索ボタン)	10	KEYLOCKボタン (リモコンロックボタン)
11	SETUPボタン (設定ボタン)	12	FREEZEボタン (監視画面の一時停止ボタン)
13	LOGボタン (ログボタン)	14	ENTERボタン (入力ボタン)
15	方向ボタン	16	ALARMボタン (アラームボタン)
17	SEQUENCEボタン (自動切替モードボタン)	18	ZOOMボタン (拡大ボタン)
19	PTZボタン	20	VIEWボタン (プリセットビューボタン)
21	SAVEボタン (保存ボタン)	22	MENUボタン (メニューボタン)
23	再生ボタン	24	BOOKMARKボタン (ブックマークボタン)
25	CLIP COPYボタン (クリップコピーボタン)	26	MUTEボタン (ミュート)

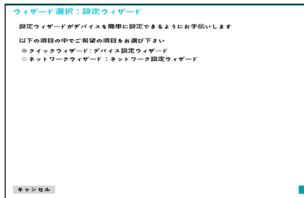


リモコンの各ボタンに関する詳しい内容は取扱説明書をお読みください。

ウィザード実行

- 設定ウィザードは管理者アカウントでログインすると、リアルタイム監視メニューのウィザードメニューから実行できます。ウィザード実行段階に関する詳しい内容は取扱説明書をお読みください。

- 設定ウィザードのオプションを選択した後、次へボタンをクリックして設定ウィザードを起動させます。



- ウィザード画面全体でキャンセルを選択すると、変更された設定を取り消してメイン設定メニュー画面に戻ります。

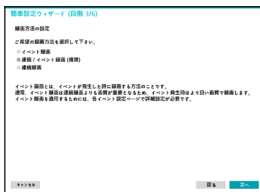
クイックウィザード

- クイック設定ウィザード開始
- 日付/時刻の設定

変更された日付/時刻の設定値は、次へをクリックすると適用されます。

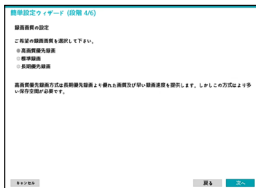


- 録画方式設定

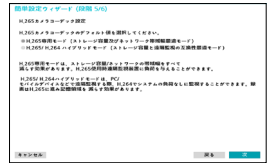


- 録画画質設定

高画質を選択するほど、ハードディスクで使用される容量は大きくなります。



- コーデック方式設定



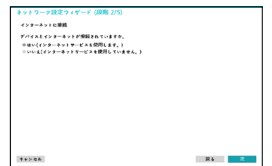
- クイック設定ウィザード完了

ネットワークウィザード

- クイック設定ウィザードが完了した後にネットワーク設定へをクリックすると、続けてネットワーク設定ウィザードを始めることができます。

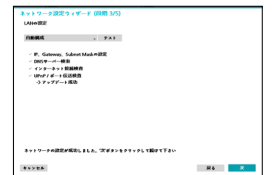
- ネットワークウィザード開始

- インターネット接続確認



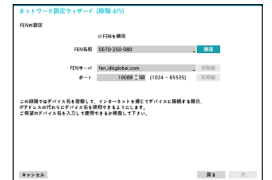
- LAN設定

テストを完了しないと、次の段階には進みません。



- FEN設定

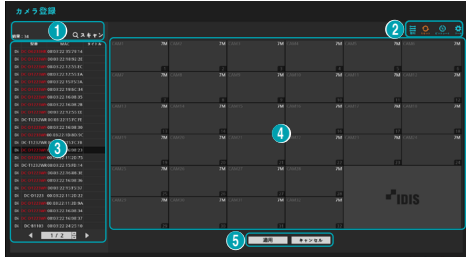
FENサーバーに登録するNVR名をFEN名前に入かし、確認をクリックすることで、その名前が使用可能であるか確認できます。



- ネットワークウィザード完了

カメラ登録

システムを初めて起動させてから設定ウィザードを終了すると、自動的にカメラ登録モードが起動され、NVRに接続されているカメラが自動で検索されます。



1	カメラ検索ボタン	2	カメラ表示メニュー
3	カメラリストエリア	4	映像出力エリア
5	適用/キャンセルボタン		

カメラ検索ボタン

自動で感知できなかったカメラや、他社のカメラを検索して登録することができます。

スキャンボタンを押すと、次のようなメニューが表示されます。

- **再スキャン**：自動的に感知されなかったDirectIPカメラを検出することができます。
- **指定カメラに移動**：カメラリストエリアに存在するカメラのリストからカメラのMACアドレスを使用し、そのカメラに自動的に移動します。
- **検索範囲**：検索範囲の設定によってカメラリストエリアに存在するカメラをフィルタリングすることができます。
- **画面自動配置**：検出されたカメラを映像出力エリアに自動的に配置するときに使用されます。
- **手動者スキャン**：自動スキャンに対応しない他社のカメラを手動で検出します。
 - **プロトコル**：検索したいカメラ（またはビデオエンコーダー）のプロトコルを選択してください。



- NVRに対応するプロトコルでも、カメラのモデルによってはデバイス登録ができなかったり、機能が使えなかったりする場合もあります。対応するカメラのモデルに関する詳しい内容は、NVRの代理店までお問い合わせください。
- 本システムはIDISカメラとの組合せに最適化されています。他社のカメラを登録すると、Video設定がシステムの性能を超える場合、録画性能が保障できず、特定の機能が制約される場合があります。この場合、設定変更により、最適化した性能を発揮できるように変更してください。

- **モード**：検索モードを選択してください。

- 1 **スキャンボタン**を押して検索してください。
 - 2 検索されたカメラをリストから選択した後、**カメラ追加**を選択すると、デバイスログインウィンドウが表示されます。
 - 3 登録したいカメラの**ユーザーID**と**パスワード**を入力します。
- **カメラリスト**：カメラの情報ファイル(.csv)を利用し、ユーザーがより簡単にカメラを登録することができます。

カメラ表示メニュー

- **整列** ボタン：映像出力エリアに表示されるカメラの画面をビデオイン端子に接続されたカメラの位置の順に再整列します。
- **リセット** ボタン：カメラ映像出力画面およびカメラリストエリアに表記されているすべてのカメラを初期化して再スキャンします。
- **ビットレート** ボタン：各チャンネルの性能割り当てを変更することができます。
- **ツール** ボタン：カメラ関連の動作を実行することができるネットワークカメラのツールウィンドウが表示され、カメラの認証、画面配置およびプロトコルを変更することができます。

カメラリストエリア

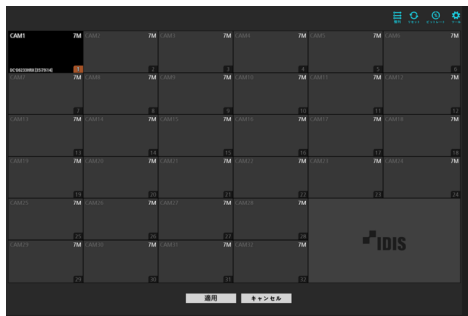
カメラリストの各項目にマウスの右ボタンをクリックすると、下記の機能が実行できます。

- **カメラ追加/削除**：リストにあるカメラを追加したり、追加されたカメラを削除したりすることができます。カメラの追加オプションが登録されている場合には無効です。
- **認証**：カメラにログインするための情報を入力します。DirectIPカメラとIDISカメラはログインが必要ないため、省略されます。IDISプロトコルの場合、パスワードが設定されていないと非アクティブになります。
- **マルチ選択モードオン/オフ**：リスト上のカメラを多重選択してカメラを追加若しくは除去することができます。

映像出力エリア

映像出力エリアでマウスの左ボタンをクリックすると、分割画面表示と単一画面表示を切り替えることができます。

映像出力エリアに表示されるカメラ画面はマウスをドラッグして表示位置を調整することができます。



適用/キャンセルボタン

カメラ登録モードでのすべての変更事項をNVRに登録するためには、適用ボタンを押してください。

適用ボタンを押すと、次項のようなメッセージウィンドウが表示され、自己診断を実行するか、しないかを選択できます。

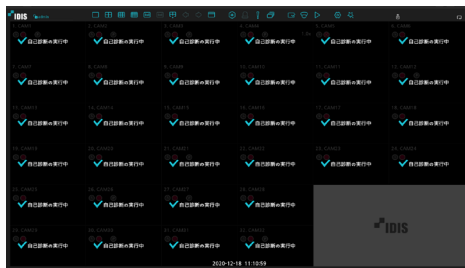
キャンセルボタンを押すと変更内容を取り消し、カメラ登録モードを終了します。



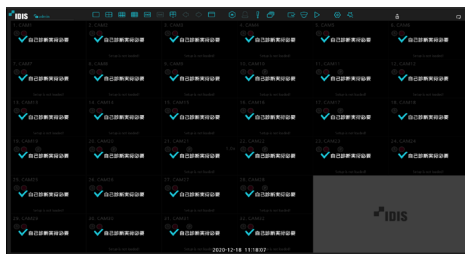
他のNVRに登録されているカメラは登録できません。

自己診断の実行

自己診断を選択してNVRのカメラ登録を完了すると、自動的に自己診断を実行します。自己診断を実行中の場合、自己診断の実行中というメッセージが表示されます。




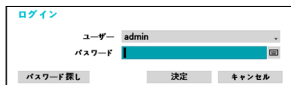
自己診断に失敗した場合、自己診断実行必要というメッセージが表示されます。自己診断に失敗した場合、手動で自己診断を実行します。





ログイン


環境設定や検索など、NVRの様々な機能を使用するためには、その権限を有するユーザーでログインしなければなりません。

- リアルタイム監視メニューでリモコンの**設定**ボタンを押すか、マウスを利用して  アイコンを押すと、ログインすることができます。



- ユーザーを選択してパスワードを入力したら、**決定**ボタンを押してください。

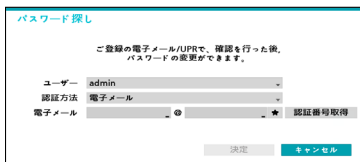
-  マウスでパスワード入力項目の右側にある  ボタンを押すと、スクリーンキーボードでパスワードを入力することができます。

- リアルタイム監視メニューにおいてマウスで  アイコンを押すと、ログアウトすることができます。

パスワード探し


パスワードを忘れた場合**パスワード探し**ボタンを押すと、新しいパスワードが設定できます。

- ユーザー登録の段階で設定したユーザーおよび登録した電子メールアドレスを入力した後、**認証番号取得**ボタンを押してください。UPR(User Password Reset)認証方法を使う場合、UPR認証方法を選択してください。




- 取得した認証番号を入力し、**決定**ボタンを押してください。




-  左下の「?」ボタンを押すと表示されるパスワード設定に関するガイドラインをお読みください。
- パスワード設定は必ずスクリーンキーボードで入力してください。
- パスワード探し機能を電子メールで利用して使用するためには、SSL/TLSに対応するメールサーバーを使用できるように設定する必要があります。詳しい内容はオペレーションマニュアルをお読みください。

- UPR(User Password Reset)認証を入力し、UPR認証ボタンを押してください。

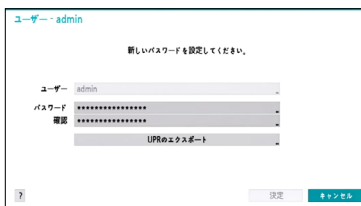


- 事前に保存したUPR(User Password Reset)ファイルを選択して読み込みボタンを押してください。



-  UPR機能を使用するためには、事前にUPRファイルを保存しなければなりません。
- オフラインパスワード検索機能とは、事前に保存した一種の暗号化されたUPR(User Password Reset; 拡張子*.upr)ファイルを利用してパスワードを再設定できる機能です。
- ローカルにおいてUSBフラッシュドライバーとして使用できますが、遠隔からは使用できません。
- 同じ機器からエクスポートしたファイルのみ使用することができます。
- UPRファイルを無くした場合、NVRの当該アカウントのパスワードを変更すると無くしたUPRファイルは使えなくなります。

- 左下の?ボタンを押すと表示されるパスワード設定に関する指針に従って新しいパスワードを設定してください。



基本機能

リアルタイム監視



カメラの登録が完了すると、リアルタイム監視モードに入ります。リアルタイム監視モードでメニューボタンを押すと、画面上段にリアルタイム監視メニューが表示されます。メニューボタンをもう一度押すと、メニューが消えます。リモコンの方向ボタンを利用して各メニューや項目間を移動できます。

ビデオ録画

監視映像を録画します。

録画に関する詳しい内容はオペレーションマニュアルをお読みください。

緊急録画機能

リアルタイム監視メニュー、または検索メニューで緊急録画  アイコンを選択するか、リモコンの緊急録画ボタンを押すと、登録されているすべてのカメラで緊急録画を始めます。緊急録画を停止するには、もう一度緊急録画  アイコンを選択するか、緊急録画ボタンを押してください。録画設定 > 一般で緊急録画時間が設定されている場合は、設定された時間だけ緊急録画をしたあと自動的に停止します。



- 緊急録画はユーザーが設定した録画スケジュールに関わらず行われます。
- 録画設定 > 一般で緊急録画のために設定されたビデオプロファイルで録画されます。



録画モードが上書状態ではない場合、HDDが100%になると緊急録画は停止されます。

オーディオ録音

録画設定 > 一般でオーディオ録画設定がされている場合、カメラのビデオが録画されるとき音声も録音されます。



設置地域内の法律が録音を許可しているか確認してください。

保存された映像の再生

マウスやリモコンなどを使用して、映像を再生することができます。

全チャンネル再生

- リアルタイム監視モードでメニューボタンを押す、またはマウスカーソルを画面上部へ移動してください。
- 検索モード ▶ アイコンを選択し、タイムラプス検索、イベントログ検索またはサムネイル検索を選択してください。
- 録画データ検索またはイベントログ検索モードに切り替わります。

IDIS Web

IDIS Webはインターネット上で遠隔地の映像を監視・検索することができるプログラムです。

通常のウェブブラウザで接続することができます。

IDIS Webプログラムを実行するために必要なPCのシステム要求事項は下記のとおりです。

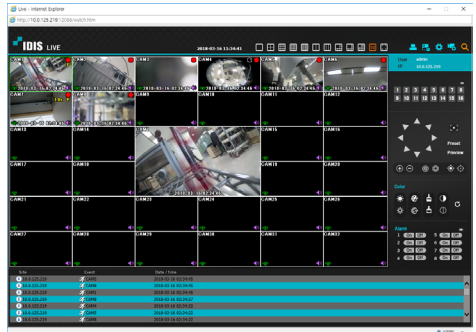
	要求仕様
OS	Windows® 10 (Pro、Home Premium)、 Microsoft® Windows® 11
CPU	Intel Pentium IV 2.4以上 (Core 2 Duo E4600 推奨)
RAM	1GB以上 (2GB推奨)
VGA	128MB以上 (1280x1024、24bpp以上)
Chome	Google Chrome 22.0.1229.0以上 (59.xxx以上 推奨)
Edge	98.0.1108.43以上

IDIS Web実行

- 1 ウェブブラウザを起動し、アドレスバーに下記の情報を入力してください。
 - [http://IPアドレス:ポート番号\(NVRシステムIPアドレスおよびネットワーク一般設定で設定したIDIS Web接続ポート番号\(初期値: 12088\)入力\)](http://IPアドレス:ポート番号(NVRシステムIPアドレスおよびネットワーク一般設定で設定したIDIS Web接続ポート番号(初期値: 12088)入力))
 - または、[http://fen.idisglobal.com/FENの名前\(FENの名前: FENサーバーに設定したNVRのデバイス名\)](http://fen.idisglobal.com/FENの名前(FENの名前: FENサーバーに設定したNVRのデバイス名))
 - または、<http://web.idisglobal.com> (ログイン時のNVR IPアドレス、またはFENサーバーに登録されているFEN名)

接続したいNVRのIPアドレスおよびIDIS Webポート番号はネットワーク管理者にお問い合わせください。

- 2 IDIS Webログインウィンドウが表示されたら、**LIVE-PORT**または**PLAY-PORT**を選択します。ログインに必要なIDおよびパスワードを入力し、**LOGIN**ボタンをクリックすると選択したモードに移行します。<http://web.idisglobal.com>を入力してアクセスする場合、DEVICE ADDRESSの項目にNVRのIPアドレスを入力します。
ログインウィンドウでUse FENサービスオプションを選択すると、IPアドレスの代わりにFENサーバーに登録されているNVRの名前を入力することができます。なお、SETUP設定でFENサーバーのアドレスおよびポート番号の入力が要求されます。



IDIS Center Program

システム要件

	推奨仕様	最低仕様
OS	Microsoft® Windows® 11、 Microsoft® Windows® 10 64-bit (Home、Pro)、Windows Server 2016以上	Microsoft® Windows® 10 (Home、Pro)
CPU	Intel® Core™ i7-12700K 3.6GHz 以上	Intel® Core™ i3-2100 以上
RAM	16GB以上	2GB以上
VGA	NVIDIA GeForce GTX1060または Quadro P2000以上 (1920x1080ま たは2560x1440、75Hz以上)	NVIDIA GeForce GT710 (1280x1024、60Hz)または Intel® HD Graphic 530以上
HDD	8GB以上の空き容量 SSD (Solid State Drive)	4GB以上の空き容量
LAN	Gigabit Ethernet以上	100Mbps Ethernet

インストール

ソフトウェアをインストールする前に、**Windows** スタートメニューのコントロールパネルに移動し、**電源オプション**で**モニター節電機能**と**ハードディスク節電機能**を使用しないに設定してください。

- 1 IDIS CenterソフトウェアをIDISホームページ(www.idisglobal.com)でダウンロードします。
- 2 **Setup**のフォルダーの下にある**setup.exe**ファイルを実行します。
 - Microsoft® Windows® Vistaまたはその上のOSで**ユーザーアカウント制御**画面が表示されることがあります。この場合、**許可**ボタンをクリックした後、設定画面の指示に従ってプログラムをインストールします。
- 3 インストール画面が表示されたら、**次**ボタンをクリックします。
- 4 プログラムがインストールされるディレクトリを指定した後、**次**ボタンをクリックします。
- 5 インストール承認画面が表示されたら、**次**ボタンをクリックします。
 - NETFrameworkとVisual C++Runtime Librariesが自動的にインストールされる場合、インストール時に少々時間が掛かることがあります。ユーザーのPCにNET Framework及びVisual C++Runtime Librariesが既にインストールされている場合、本インストールのプロセスは省略されます。
- 6 設置完了画面が表示されたら、**閉じる**ボタンをクリックしてインストールを完了します。

プログラム起動

IDIS centerソフトウェアをインストールするとデスクトップに**IDIS center**及び**IDIS center Run as administrator**(管理者IDでの実行)のショートカットアイコンが生成されます。

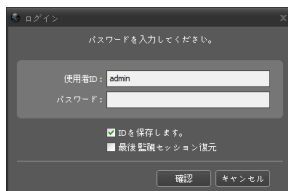
IDIS center又は**IDIS centerRun as administrator**(管理者IDでの実行)のショートカットアイコンをダブルクリックしてIDIS centerプログラムを実行します。IDIS centerプログラムが実行中のPCに管理者IDではなく標準ユーザーIDでログインした場合、**IDIS center Run as administrator**(管理者IDでの実行)のショートカットアイコンをダブルクリックしてください。

ログイン

本プログラムは初期パスワードが設定されていません。パスワードを設定せずプログラムを使用するのはセキュリティ上好ましくないため、パスワードを設定して使用してください。



プログラムを実行した後、ログイン情報を入力します。



- **IDを保存します**：この項目を選択するとログインする際、入力したIDを保存します。
 - **最後監視セッション復元**：現在の監視パネルに以前の監視セッションを復元することができます。
-
- 使用者IDの初期値はadminであり、初期パスワードはありません。
 - 使用者メニューでユーザーのIDやパスワードを変更することができます。

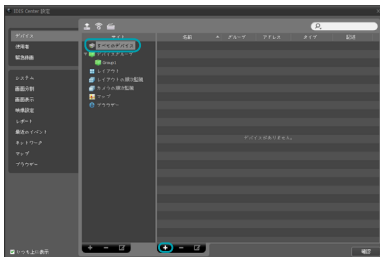
デバイスの登録

IDIS centerプログラムで提供する機能を使用するためには、まずIDIS centerプログラムにデバイスを登録した後、該当するデバイスをデバイスグループに追加しなければなりません。

- 1 システムメニュー > IDIS center設定 > デバイスを選択します。



- 2 サイトパネルですべてのデバイスをクリックした後、右のデバイスリストのパネルの下段にある **+** ボタンをクリックします。デバイス検索画面が表示されます。



- 3 検索モードを選択した後、**検索開始**ボタンをクリックすると、検索結果をリストで表示します。
- 4 デバイス検索画面の下段の**デバイス登録**ボタンをクリックします。
- 5 ユーザー認証ウィンドウが表示されたら、遠隔接続のために各デバイスで設定したID・パスワードを入力した後、**確認**ボタンを押してください。



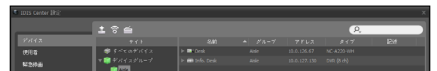
- 6 サイトパネルで**デバイスグループ**をクリックした後、**サイト**パネルの下段にある **+** ボタンをクリックします。**デバイスグループの追加**画面が表示されます。



- **名前**：デバイスグループの名前を入力します。
- **場所**：該当するデバイスグループが所属する上位デバイスグループを選択します。

左側のデバイスリストからグループに追加するデバイスを選択すると、右側にある**選択されたデバイス**リスト欄に追加されます。**確認**ボタンを押すと、デバイスグループに登録されます。

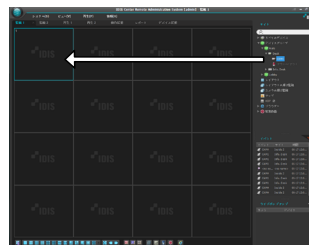
- 7 デバイスがデバイスグループに正しく追加されているか確認します。**サイト**パネルで**デバイスグループ**をクリックした後**デバイスグループ**の左側の矢印ボタンをクリックします。登録されたデバイスグループをクリックすると、該当するデバイスグループに追加されたデバイスリストが右側に表示されます。



登録されたデバイスグループを選択した後、**サイト**パネルの下段にある ボタンをクリックすると**デバイスグループ修正**画面が表示され、該当するデバイスグループを修正することができます。

リアルタイム監視

- 1 サイトリストでデバイスグループにデバイスが追加されているか確認してください。
- 2 パネルタブで**監視**タブをクリックします。**サイト**リストで接続するサイトを選択した後、監視画面の上にマウスでドラッグ&ドロップします。選択したサイトのリアルタイム映像が画面に表示されます。



録画された映像の再生

- 1 サイトリストでデバイスグループにデバイスが追加されているか確認してください。
- 2 パネルタブで**再生**タブをクリックします。サイトリストで接続するサイトを選択した後、再生画面の上にマウスでドラッグ&ドロップします。選択したサイトの録画映像が画面に表示されます。

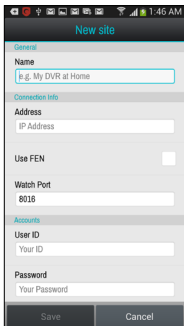
IDIS Mobile



本サービスは多量のデータを使用するため、無線LAN (WiFi) を使用することをお勧めします。携帯会社の無線インターネット (3G、LTE) で接続する場合、課金されることがあります

アンドロイドOS搭載のモバイルデバイス

- 1 モバイル機器よりAndroid **Playストア** (Google Play) アプリケーションを実行して下さい。
- 2 **Playストア** (Google Play) アプリケーションの検索欄に**IDIS Mobile**と入力して下さい。
- 3 **IDIS Mobile**をインストールしてプログラムを実行して下さい。
- 4 **新規登録**のボタンを押してから、デバイスの情報を入力し、デバイスを登録します。
- 5 **New Site** (遠隔地追加) ボタンをタップしてからデバイス情報を入力してデバイスを登録して下さい。



- **General (一般)** : IDIS Mobileより使用するデバイス名を入力します。
- **Connection Info (接続情報)** : FEN 構成、リモートアドレス、リモートポート設定

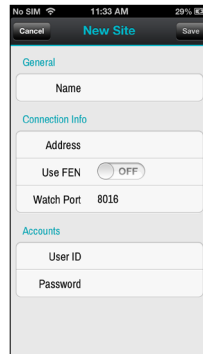
参考 : デバイスがFEN機能を使用しない場合、選択を解除します。別のFENサーバーを運用する場合、初期画面の上段タイトルバーより ⚙️ (環境設定) を選択してFENサーバーの情報を設定します。(アドレス初期設定値 : fen.idisglobal.com/ ポート初期設定値 : 10088) 詳しい内容はFENサーバー管理者にお問い合わせください。

参考 : デバイスがFEN機能を使用しない場合、**Use FEN** (FEN使用) 項目の選択を解除してからアドレス項目にデバイスのIPアドレスを入力します。ポート番号の場合、初期値の使用をお勧めします。

- **Account (アカウント)** : デバイスログインの時に使用する使用者ID及びパスワードを入力します。(使用者IDの初期設定値 : admin、パスワードの初期設定値は無し)

iOS搭載のモバイルデバイス

- 1 モバイル機器より**Appストア** アプリケーションを実行して下さい。
- 2 **Appストア**アプリケーションの検索欄に**IDIS Mobile**と入力して下さい。
- 3 **IDIS Mobile**をインストールしてプログラムを実行して下さい。
- 4 タイトルバーの **+** (新規登録) ボタンを押します。デバイスの情報を入力し、デバイスを登録します。



- **General (一般)** : IDIS Mobileより使用するデバイス名を入力します。
- **Connection Info (接続情報)** : FEN 構成、リモートアドレス、リモートポート設定

参考 : デバイスがFEN機能を使用しない場合、選択を解除します。別のFENサーバーを運用する場合、初期画面の上段タイトルバーより ⚙️ (環境設定) を選択してFENサーバーの情報を設定します。(アドレス初期設定値 : fen.idisglobal.com/ ポート初期設定値 : 10088) 詳しい内容はNVRの代理店にお問い合わせください。

- **Account (アカウント)** : デバイスログインの時に使用する使用者ID及びパスワードを入力します。

製品の仕様

本製品の仕様は製品の質を高めるために事前の予告なく変更される場合があります。

ビデオ	
ビデオ入力	8 チャンネル(IP) (DR-6508P) 16 チャンネル(IP) (DR-6516P(-A)) 32 チャンネル(IP) (DR-6532P(-A))
ビデオ出力	HDMI 2.0, HDMI 1.4b
ディスプレイ解像度	3840x2160、1920 x 1200、1920 x 1080、1680 x 1050、1600 x 1200
録画速度	最大 960ips (DR-6532P(-A)) 最大 480ips (DR-6516P(-A)) 最大 240ips (DR-6508P)

*ビデオエンコーダーのカメラが17台以上登録されている場合、遠隔監視映像のフレーム数が安定しない場合があります。

* RAID再構築中には録画速度低下が発生することがあります。

録画	
最大速度 (Max. Throughput)	230Mbps、960ips @ UHD (DR-6532P(-A)) 180Mbps、480ips @ UHD (DR-6516P(-A)) 140Mbps、240ips @ UHD (DR-6508P)
圧縮	H.264、H.265
録画モード	タイムラプス、イベント、プライベート、パニック

再生	
性能	DR-6508P : 8CH synchronous playback DR-6516P(-A) : 16CH synchronous playback DR-6532P(-A) : 32CH synchronous playback
検索モード	カレンダー、日時指定、イベントログ、サムネイル、テキストイン

保存	
HDD	SATA x6、eSATA x4、RAID 1 サポート、
最大容量	252TB=10TB x 6(内蔵) + 12TB x4x4(外付け)
バックアップデバイス	USB記録装置(USB HDD、USB メモリなど)

ネットワーク	
クライアント接続	Gigabit Ethernet(Client) x1
ビデオ入力接続	Gigabit Ethernet(IP Camera) x16 +Gigabit Ethernet(Ext) x1 (DR-6532P(-A)/DR-6516P(-A)) Gigabit Ethernet (IP Camera) x8 +Gigabit Ethernet(Ext) x1 (DR-6508P)
転送速度	50Mbps / 100Mbps (BRP Mode)

カメラ電源	PoE(IEEE 802.3at class 4) 16 ports、120W (DR-6532P/DR-6516P) PoE(IEEE 802.3at class 4) 16 ports、200W (DR-6532P-A/DR-6516P-A) PoE(IEEE 802.3at class 4) 8 ports、120W (DR-6508P)
イベントアラーム	Email (添付ファイル (.cbf、.MP4))、コールバック (遠隔ソフトウェア)、FTP、HTTP

インターフェース

オーディオ入力 / 出力	Local(NVR) : 1 RCA / 1RCA + 2HDMI IP Camera : 32 / 32 (IP Cameraによる) (DR-6532P(-A)) Local(NVR) : 1 RCA / 1RCA + 2HDMI IP Camera : 16 / 16 (IP Cameraによる) (DR-6516P(-A)) Local(NVR) : 1 RCA / 1RCA + 2HDMI IP Camera : 8 / 8 (IP Cameraによる) (DR-6508P)
アラーム入力	4 TTL、NC/NO programmable、2.4V (NC) or 0.3V (NO) threshold、5V DC
アラーム出力	1 relay output、NC/NO、2A@125V AC、1A@30V DC
アラームリセット入力	1 TTL、terminal block
内蔵ブザー	Yes
シリアルインタフェース	RS232 (Terminal Block)、RS485 (Terminal Block)
USB 端子	USB 2.0 x 2、USB 3.0 x 1

一般

運用システム	Embedded Linux
寸法(W x H x D)	430mm×88mm×412.8mm ※突起物含まず。
本体の重量 (約)	6.75kg (with 1 HDD)、10.2kg (with 6 HDDs)
作動温度	0°C - 40°C
作動湿度	0% - 90%
電源入力	100-240V~, 50/60Hz、3.0 - 1.5A (DR-6508P/DR-6516P/DR-6532P) 100-240V~, 50/60Hz、4.0 - 2.0A (DR-6516P-A/DR-6532P-A)
消費電力	100-240V~, 50/60Hz、3.0 - 1.5A、250W (DR-6508P/DR-6516P/DR-6532P) 100-240V~, 50/60Hz、4.0 - 2.0A、360W (DR-6516P-A/DR-6532P-A)
認証	FCC、UL、CE、CB、KC、PSE

本文書の内容は予告なく変更する場合があります。

本製品は下記URLに掲載されている特許の1つ以上の請求項の権利範囲に含まれています。patentlist.accessadvance.com

製品保証書

発行日 年 月 日

この製品は厳密な検査に合格してお届けしたものです。

お客様の正常なご使用状態で万が一故障した場合は、この保証書に記載された期間、条件のもとにおいて修理をいたします。

製品名			
シリアル番号		保証期間	発行日より5年間

◆販売会社

会社名			
住所			
電話番号			

◆お客様

会社名			
住所			
電話番号			

* 本保証書は再発行はいたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

保証契約約款

この約款は、お客様が購入された弊社製品について、修理に関する保証の条件等を規定するものです。お客様が、この約款に規定された条件に同意頂けない場合は保証契約を取り消すことができますが、その場合は、ご購入の製品を使用することなく販売店又は弊社にご返却ください。なお、この約款により、お客様の法律上の権利が制限されるものではありません。

第1条 (定義)

- この約款において、「保証書」とは、製品名および保証期間を予め記入したうえで弊社が修理を保证する旨を約して発行された証明書をいいます。
- この約款において、「故障」とは、お客様が正しい使用方法に基づいて製品を動作させた場合であっても、製品が正常に機能しない状態をいいます。
- この約款において、「無償修理」とは、製品が故障した場合、弊社が無償で行う当該故障箇所の修理をいいます。
- この約款において、「無償保証」とは、この約款に規定された条件により、弊社がお客様に対し無償修理をお約束することをいいます。
- この約款において、「有償修理」とは、製品が故障した場合であって、無償保証が適用されないとき、お客様から費用を頂戴して弊社が行う当該故障箇所の修理をいいます。
- この約款において、「製品」とは、弊社が販売に際して梱包されたもののうち、本体部分を含み、付属品および添付品などは含まれません。

第2条 (無償保証)

製品が故障した場合、お客様は、保証書に記載された保証期間内に弊社に対し修理を依頼することにより、無償保証の適用を受けることができます。

但し、次の各号に掲げる場合は、保証期間内であっても無償保証の適用を受けることができません。

- 修理をご依頼される際に、保証書を表示頂けない場合。
- ご提示頂いた保証書が、製品名および製品シリアルNo.等の重要事項が未記入又は修正されていること等により、偽造された疑いのある場合。
- お客様が製品をお買い上げ頂いた後、お客様による運送又は移動に際し、落下又は衝撃等に起因して故障又は破損した場合。
- お客様における使用上の誤り、不当な改造もしくは修理、又は、弊社が指定するもの以外の機器との接続により故障又は破損した場合。
- 火災、地震、落雷、風水害、その他天変地変、又は、異常電圧などの外部的要因により、故障又は破損した場合。
- 消耗部品が自然摩耗又は自然劣化し、消耗部品を取り換える場合。
- 前各号に掲げる場合の他、故障原因が、お客様使用方法にあると認められる場合。

消耗部品	補償交換期間
HDD	3年
記録メディア	3年

第3条 (修理)

この約款の規定による修理は、次の各号に規定する条件の下で実施します。

- 修理のご依頼時には保守契約窓口までご連絡下さい。尚、送料は送付元負担とさせていただきます。また、ご送付時には宅配便など送付控えが残る方法でご送付ください。郵送は固くお断り致します。
- 修理は、製品の分解又は部品の交換若しくは補修により行ないます。但し、万一、修理が困難な場合又は修理費用が製品価格を上回る場合には、保証対象の製品と同等又はそれ以上の性能を有する他の製品と交換することにより対応させていただきます。
- ハードディスクの修理に際しましては、修理の内容により、ディスク若しくは製品を交換する場合又はディスクをフォーマットする場合などがございますが修理の弊社では記憶されたデータについてバックアップを作成致しません。
- 無償修理により、交換された旧部品又は旧製品等は、弊社にて適宜廃棄処分させていただきます。
- お客様ご購入された製品について、交換された旧部品又は旧製品等についても、弊社にて適宜廃棄処分させていただきますが、修理をご依頼された際にお客様からお知らせ頂ければ、旧部品等を返品いたします。但し、部品の性質上ご意向に沿えない場合もございます。
- 性能維持に必要な補修パーツ等の供給期間は、生産完了後7年までとなります。
- 無償修理はセンドバックのみ対応とさせていただきます。お客様先での交換作業費、出張費用などは無償修理に含まれません。

第4条 (免責事項)

- お客様ご購入された製品について、弊社に故意又は重大な過失があった場合を除き、債務不履行又は不法行為に基づき損害賠償責任は、当該製品の購入代金を限度と致します。
- お客様ご購入された製品について、隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定にかかわらず、無償にて当該瑕疵を補修し又は瑕疵のない製品又は同等品と交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任せません。
- 弊社における保証は、お客様ご購入された製品の機能に関するものであり、ハードディスクなどのデータ記憶装置について、記憶されたデータの消失または破損について保証するものではありません。

第5条 (有効範囲)

この約款は、日本国内においてのみ有効です。また、海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません

